

いなぶ支所だより

vol.006
令和5年3月7日発行

稲武地区の人口と世帯数 (令和5年2月1日現在)

- ◆人口：2,045人 (前年同月比：▲50人)
- ◆世帯数：945世帯 (前年同月比：▲5世帯)

空き家情報バンク制度 (令和5年2月15日現在)

- ◆入居者募集中のHP掲載物件数：5件
- ◆令和4年度入居実績：5組(8名)

雪み街道いなぶ ～魅・美・見・味～

2月4日(土)に、第12回 雪み街道いなぶ～魅・美・見・味～が開催されました。当日はたくさんのお客さんがお越しになり、3年ぶりの開催となった汁-1グランプリのチケットは即完売！例年よりも多くの雪灯ろうを作ることができ、まちなかへも並べられたことで、その様子はまさに「雪み街道」の名にふさわしいものでした。まちなかに設置された汁物の店舗にはお客さんの長蛇の列ができ、たくさんの人たちが歩かれているのが印象的でした。なお、この事業はもともと地域予算提案事業でスタートし、当初はまちなかの賑わい創出につながればと企画、実施されたものでした。

今回初めての取組として、養蚕事業の啓発の一環で、まゆ(絹糸)から作った「絹のランタン」の販売もされました。

また、氷瀑は今年も大きく育ちました。こちら写真撮影に訪れている人がたくさんいました。

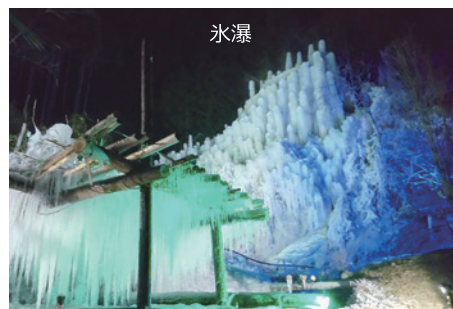
NPO 稲武まちづくり協議会の皆さんをはじめ、準備から運営に関わった多くの皆さん、ありがとうございました。お疲れ様でした！



雪灯籠



メイン会場にはラリーカー展示も



氷瀑



汁-1グランプリの様子



汁-1グランプリの様子



絹ランタン

第3回 INABU WORKSPACE OPEN DAY

2月3日(金)に、稲武商工会館でテレワーク体験会が行われました。

当日は、自動車メーカーに勤務されている方や大学生などが稲武商工会館に来場され、個室ブースやオープンスペースでテレワーク等を行いました。当日は、雪み街道の前日であったため、雪灯ろうづくりを体験できるコーナーが設けられ、稲武の自然を身近に感じることのできる体験イベントも行われました。更に、夕方からは小・中学生を対象に風力から電気を発電してみる体験イベントが開催され、多くの方で賑わいました。

今後もテレワーク体験会を開催予定で、テレワーカーの方々に利用しやすい環境づくりに取り組む予定です。ネットワーク環境も完備していますので、興味のある方は是非ご参加ください。



雪灯籠づくり体験



テレワークの様子



小・中学生向け体験イベントの様子

稲武の動きを見てみよう

<令和4年度 第3回稲武 KAIKO 学>

2月11日(土)
開催の第3回稲武
KAIKO 学では、シルクを通じた事業を新規に展開している(株)大翻、富士凸版印刷(株)の代表取締役2名にお越しいただき、シルクを使った様々な商品の紹介やシルクの生産のために蚕を育てる桑畑を探している事など、稲武での今後の展開も期待できる具体的なお話をしていただきました。



<空き家セミナー>

稲武地区において今後も増えることが想定される空き家に対して、基本的な知識を学ぶセミナーが1月29日(日)に開催されました。参加者の中には稲武に空き家があり管理が大変である事を講師に相談される方もみえ、関心度の高さが伺えました。

豊田市では「豊田市空き家情報バンク」により、登録された空き家の情報を希望する方へ提供しています。空き家バンクへの登録は支所でもご支援できます。また、片付けの補助金やリフォーム補助金等もありますので、空き家に関する相談は、まずは稲武支所へお問合せください。

<稲武地域まちづくり推進協議会>

12月協議会では、ファームいなぶと定住促進協議会による取組発表等を行いました。1月協議会では、雇用創出検討委員会による取組発表を行いました。また、ファーストキャリアさんから稲武地区に関する提案を受け、意見交換を行いました。議事録は豊田市ホームページに掲載していますのでご覧ください。



(上記 QR コードからお入りください)

わくわく事業活動紹介

農業における獣害被害は稲武地区でも深刻な問題となっています。「獣害対策・山村部 IoT 活用プロジェクト」は、そのような地域課題を IT/IoT テクノロジーを使って解決することで、稲武の農業がより発展することを目指して活動しています。

夜間の動物の動きをカメラで撮影しコンピューターに学習させることで、普段どのような動物が出現しているかを検出する検証や、畑に設置したセンサー等が動物を検知した際に遠隔のコンピューターに情報を飛ばすためのデバイス開発等、専門的な検証を行っています。

代表の古橋崇史さんは「昨今の半導体不足の影響で計画が思うように進まないこともありましたが、一步一步着実に検証を進められました。」と、今年度の検証結果に手ごたえを感じてみえる様子。高度な知識や技術が必要とする難しい事業ではありますが、今の時代にあった最先端の取組みに今後ご注目ください。

IoTの活用による 農産物獣害の抑制と地域振興

団体：獣害対策・山村部
IoT 活用プロジェクト
代表：古橋崇史(稲武町)
補助金額：1,000,000 円(原材料費、委託費)



大きく変わりつつある足助高校！(企画課からのお知らせ)

豊田市は、令和3年3月に策定した「おいでん・さんそんプラン」の中で高等学校の魅力化を掲げており、山村地域唯一の高校である愛知県立足助高等学校の魅力の増大化に取り組み、教育環境の充実を図るとともに、山村地域のまちづくりを担う人材育成を支援しています。

今、足助高校は「自主自律～主体性を備えた人材育成～」を目標に、大きく変わりつつあります。令和5年度入学生からは、観光ビジネス類型がコース化され、PBL(課題解決型学習)を通してプロジェクトデザイナーの育成を目指します。これからも、変わり続ける足助高校の取組みにご注目ください。



足助高校の取り組み<3つの柱>

※ 詳細は足助高校 HP をチェック ⇒

①観光ビジネス類型 ②探究的な学習 ③ルールメイキングプロジェクト





ゆいの輪

令和5年
3月号

豊田市社会福祉協議会稲武支所 住所：441-2521 豊田市桑原町中村5番地
電話：82-2068 FAX：82-3604 MAIL：inabu@toyota-shakyo.jp

音楽交流で高齢者の^{けんこう}健幸づくり

令和4年12月8日、音楽交流ボランティア「ヒデとメイ風」が夏焼集会所にて独り暮らし高齢者対象に音楽交流会を実施しました。

この活動は、「高齢であり、日ごろ自宅でさみしさを感じながら過ごしている。地域の顔の見える方とお茶菓子を囲んで気軽に歌や話をしながら交流し、明るく過ごしたい」という地域の声から、私たちが気軽に訪問することにより解決できるのではないかとこの思いから、開催しました。音楽交流を希望される方は気軽にお問合せ下さい♪



音楽の効果について紹介



音楽交流会の様子

詳細については、ボランティアセンター 担当：鈴木（電話 82-2068）まで

ポジティブ21いなぶ からのお願い

地域活動支援センター「ポジティブ21いなぶ」では、障がいのある方が生産活動や地域活動を通して、社会参加と自立を目指し、活動しています。

生産活動の中で、「パックいす」を作製、販売を行っています。

パック回収（牛乳、ジュース、お酒など）にご協力よろしくお願いします。

売り上げ5%を赤い羽根共同募金に寄付し、稲武の福祉活動に役立てています。



パックいす製作風景



地域活動 多世代交流の様子

詳細については、「ポジティブ21いなぶ」 担当：丸山（電話 82-2068）まで

おでかけ予約バス 予約はこちら



☎ 82-3690

- ◆ 運行日時：
月・水・金（午前8時～午後5時）
- ◆ 予約受付時間：
午前8時～午後5時

『桜咲く お花見のあとは 温泉へ』

おでかけ予約バスで
「ほっ」と ^{スプリング} 春を満喫



イベント情報

<いなぶ旧暦のひな祭り2023>

日時：4月3日（月）まで開催中
 場所：道の駅どんぐりの里いなぶ周辺～飯田街道沿い
 内容：どんぐり工房の今年のテーマは
「福よせ村からこ～んに～ちわ～！」
 まち歩き企画では、昨年までのスタンプラリーに代わり
 新企画「フォトラリー」を開催します。

<令和5年度わくわく事業審査会>

日時：3月18日（土）午後2時から
 場所：稲武交流館 多目的ホール
 内容：申請のあった7事業について
 審査員による質疑応答を基本とした
 ヒアリング審査を公開で行います。

図書館管理課からのお知らせ ～豊田市電子図書館を使ってみませんか～

豊田市電子図書館は、インターネットに接続されたパソコンやスマートフォン、タブレット等を利用して、電子化された書籍等を読むことができるサービスです。

来館が難しい人も「いつでも」「どこにいても」読書を楽しむことができます。豊田市中央図書館ホームページから、約1,000点のコンテンツが利用でき、これからも書籍は増えていきますので、お楽しみください。

- * 利用できる人：豊田市内在住・在勤・在学で図書館の利用カード（有効期限内）をお持ちの方
- * 貸出点数・期間：2点まで、2週間
- * 利用できる電子書籍：絵本、児童書、趣味、小説など

詳細はこちら ⇒



【問合せ】豊田市中央図書館 32-0717

足助消防署 稲武出張所からのお知らせ

3月1日（水）から7日（火）までの期間、全国一斉に春の火災予防運動が実施されました。**6つの対策**で火災被害を軽減しましょう。



足助消防署 稲武出張所
電話（82-3099）

<p>ストーブやコンロは安全装置のついた機器を使用する</p>	<p>住宅用火災警報器は定期的に点検し、10年を目安に交換する</p>	<p>カーテンや寝具は防炎品を使用する</p>	<p>消火器を設置して使い方を確認する</p>	<p>避難経路と避難方法を常に確保する</p>	<p>防災訓練に参加して地域ぐるみの防火対策を行う</p>
---------------------------------	-------------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------------

足助警察署からのお知らせ

あげた手は いのちをしらせる 警報機
 ～新入学児童・園児を交通事故から守ろう～

新年度を迎えると、真新しいランドセルを背に元気な姿で登園する子供や新社会人となった若者のフレッシュな姿を見かけるようになります。

しかし、この時期は、不慣れた交通環境で通学・通勤が始まり、交通事故の発生が心配される時期でもあります。

住民一人一人が交通安全意識を高め、安全運転や安全行動の実践を通じて交通事故の防止を図りましょう。



掲載してほしい地域情報など、ご意見、ご要望等ございましたら、稲武支所までお寄せください

編集・発行／豊田市役所稲武支所

〒441-2513 愛知県豊田市稲武町竹ノ下 1-1 / TEL 0565-82-2511 / FAX 0565-82-3272 / E-mail: inabu-shisho@city.toyota.aichi.jp

いなぶ支所だよりは豊田市 HP（トップページ→市政情報→地域振興部→稲武支所）からもご覧になれます

<豊田市 HP> <https://www.city.toyota.aichi.jp>